

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	近畿シー株式会社丹波工場建替	階数	地上2階
建設地	京都府船井郡丹波町高岡吹橋7	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	28 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2019年5月7日
敷地面積	10,900 m ²	作成者	前田享郎
建築面積	3,468 m ²	確認日	2019年5月7日
延床面積	4,099 m ²	確認者	前田享郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 84% (38 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 84% (38 kg-CO₂/年・m²)

④上記+: 84% (38 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	外壁、屋根の断熱性能を確保し空調効率を高めた省エネルギーに配慮した建物を計画している。	その他 0
Q1 室内環境	外壁、屋根の断熱性能を確保している。	Q3 室外環境(敷地内) 0
Q2 サービス性能	事務所エリアの将来レイアウト変更も考慮し、空間を比較的広く計画している。 また、天井裏での機器メンテナンスを想定し階高を高く設定し、天井裏スペースにゆとりを持たせた計画として	
LR1 エネルギー	屋根は2重折板(断熱材に間に敷設)、外壁は断熱サンドイッチパネルを採用し、外部からの熱に対して対策を行っている。	LR3 敷地外環境 工場での作業は、火気使用や排水がないので汚染物質の排出が少ない。 また、屋外広告物には照明設備を設置しない。
LR2 資源・マテリアル	躯体材料以外でリサイクル材を使用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される